

夏の星空

【児童センター夏の星空6月号】

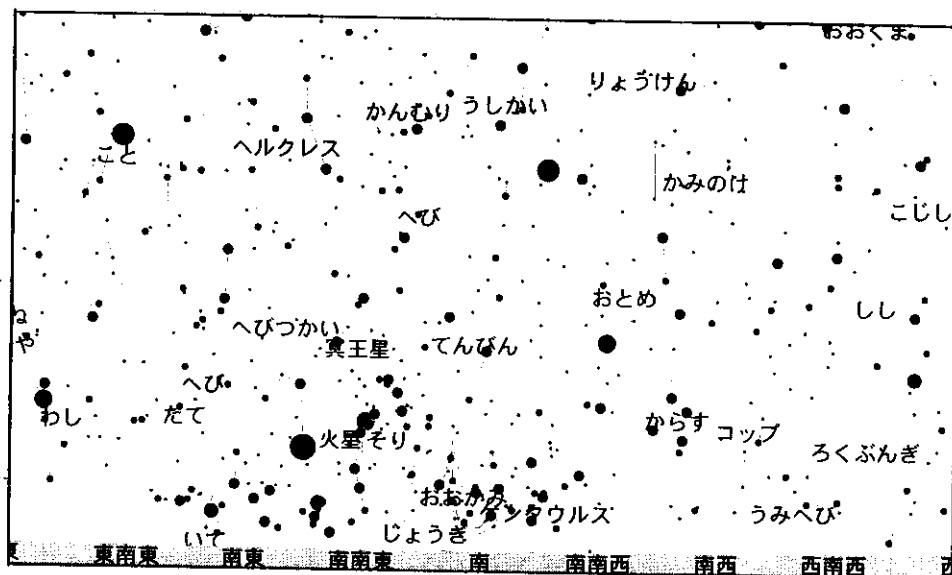
一年のうち、最も夜の時間が短い6月、さらに7月にかけて関東地方では梅雨になります。星空を楽しみにしている人にとっては、とても残念な季節です。でも、梅雨前線が日本列島から離れる時がありますから、晴れた夜には6月でも実際の星々を見逃さないようにしましょう。

夕方の南天に「しし座」や「おとめ座」となど春を代表する星座を見つけたら、もう少し（3時間位）頑張って南の空を見ていると、「さそり座」が南東の低空から登ってきます。その頃、北東の空に白く輝く星は七夕でおなじみの織り姫の星（こと座のベガ）の登場です。天界では、すぐそこまで夏の星座がみなさんを待っていますね。

<6月の星空カレンダー>

6日（水）○満月
14日（木）●下弦
21日（木）●新月
アフリカ南部で日食
28日（木）●上弦

右の星図は、6月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆日本から見えませんが、6月21日にアフリカのザンビア・ジンバブエ、マダガスカルで皆既日食があります。外国からのテレビ・ニュースなどで楽しみましょう。

☆火星が、約2年2月ごとに地球から観察しやすくなります。地球に最も近くなるのは6月22日ですが、夏の間中「さそり座」のすぐ東に輝いています。「さそり座」の一等星「アンタレス」と赤色をくらべるのも楽しいですね。なお、2003年8月下旬には今までになく火星が地球に近づきます。（火星大接近）

☆金星が明るく輝きます。明け方の東天で日の前で、「明けの明星」となります。

6月18日には月と接近しますので、風景を入れた写真撮影ができます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆